

平成28年度

事業計画及び収支予算

平成28年(2016年)5月12日から

平成29年(2017年)3月31日まで

一般財団法人

九電みらい財団

■ 事業計画

平成 28 年度は、Ⅰ環境活動（環境保全活動と環境教育活動）、及びⅡ次世代育成支援活動の 2 項目を柱に活動を推進し、Ⅲ活動の情報発信により、広く P R します。

I 環境活動

1 坊ガツル湿原での環境保全活動、及び周辺地域での希少植物保護活動

- 坊ガツル湿原の保全及びその一帯に生息する希少植物の保護のため、湿原の野焼きや外来種駆除、植生保護等の活動を実施

(1) 坊ガツル湿原（大分県竹田市）野焼き活動

- 活動にあたっては、財団と地元地域の方々等で構成する「坊ガツル野焼き実行委員会（事務局：当財団法人）」を開催し、実施時期や活動参加者等を決定（今年度は、平成 28 年 7 月及び平成 29 年 2 月に実行委員会を開催予定）

活 動	内 容	時 期	参加者
輪地切り	野焼きの際の延焼を防止するための防火帯をつくる	8 月	各 100 名程度 (計 300 名)
輪地焼き	防火帯部分に新芽が出ないように、刈った草を集め焼き払う	9 月	
本焼き	防火帯の内側に火入れを行い、坊ガツル湿原一帯を焼く	H29 年 3 月	

(2) 坊ガツル湿原（大分県竹田市）外来種駆除活動

内 容	湿原の希少植物保護のため、外来種植物の除去を行うとともに、小学生を対象とした自然観察会*を実施
時 期	平成 28 年 8 月
協力者	九州電力、地元の団体ほか
参加者数	30 名から 50 名程度

※ 小学生への参加案内は、現在、募集先や募集時期を検討中

(3) 平治岳（大分県竹田市）ミヤマキリシマ植生保護活動、及び登山道整備

内 容	希少植物であるミヤマキリシマの植生を保護するため、かん木（ミヤマキリシマの育成に支障となる低木）等を除去するとともに、老朽化している登山道を整備
時 期	平成 28 年 10 月
協力者	九州電力、地元の企業・団体ほか
参加者数	100 名程度

(4) 活動の充実策

- ・ 野焼き作業者が高齢化している状況を踏まえ、野焼き活動の担い手となるリーダーの育成を図る（下期を目途に、リーダーの募集と養成研修を開催）とともに、地元の環境NPOや大学等に呼びかけ、参加者の拡大を図る。
- ・ また、希少植物植生保護の活動範囲を周辺エリアに拡大するなど、地域ニーズを踏まえた活動内容の拡充を検討、実施する。

2 山下池周辺（大分県由布市）での環境教育活動

- 市民の環境保全意識の向上のため、山下池周辺「くじゅう九電の森」において、子どもや保護者への環境教育を実施

【実施内容】

- ① 講 話： 地球温暖化の現状や森林のCO2抑制効果・防災機能などを説明
- ② 体 験： 管理された森林（水源かん養林）や希少植物の見学、間伐の見学・体験、枝切りや植樹などを体験

[次世代向け]

実施日	4月から11月の間に16回を予定
対象者	小学生から中学生（1回あたり40名程度）
募集方法	福岡県、佐賀県、大分県内の教育委員会や校長会等を通じ、各学校や団体に案内済

[親子向け]

実施日	7月30日（北九州市）、7月31日（福岡市）、 8月20日（福岡市）、8月21日（大分市）
対象者	北九州市、福岡市、大分市及びその近郊に居住する小学4年生から6年生と保護者（1回あたり80名）
募集方法	「リビング福岡」等のフリーペーパーに広告を掲載し募集（6月予定）

II 次世代育成支援活動

- 幅広い受益者と接点を有する非営利団体に取り組む、次世代育成の活動を対象に、公募型の助成を実施

1 募集

(1) テーマ

- 少子高齢化や共働き世帯の増加など、子ども達の育成環境を取り巻く現状や課題の中から、有識者の意見や他財団の活動事例も踏まえ、「子ども達への支援活動」と「子育て世帯への支援活動」を募集テーマに設定

① 子ども達への支援活動

- 体験を通じて、子どもの社会性や協調性、規範意識などを育むこと、及び九州地域を大切にする子どもの育成を目的とした活動

(活動事例)

- ・ 地域の方から歴史や文化（郷土芸能や伝統工芸）を学び、地域の方とともに伝統芸能や伝統工芸を体験する活動
- ・ 農林漁村への民泊等により、九州の農林漁業の大切さや仕組みを学ぶ活動
- ・ 地域の多様な世代とのもの作り体験を通して、世代間交流を体験する活動

② 子育て世帯への支援活動

- 共働き世帯や非正規雇用の増加、地域のつながりの希薄化など、子育て世帯を取り巻く厳しい状況を緩和することを目的とした活動

(活動事例)

- ・ 経済的困難を抱える世帯の児童への学習支援活動
- ・ 育児に悩む子育て世帯への支援活動
- ・ 親に対する子どもの健全な食生活への支援活動

(2) 募集方法

- 財団ホームページや九州電力 facebook のほか、九州各県の社会活動推進担当部署等を通じて、社会活動団体支援ネットワークのメールマガジン等により幅広く周知し、募集

2 選考

(1) 選考方法

- 助成対象となる活動の選考については、子ども達の育成や教育、地域の課題解決に向けた活動に詳しい方を選考委員に選任し、選考委員会で審議のうえ、決定
- 選考にあたっては、活動により解決される課題の内容や、期待される効果、活動後の展開予定などを評価（評価の視点など詳細は、選考委員会で決定）

■ 収支予算

- ・ 収益については、九州電力株式会社から法定設立費用 3 百万円と事業費用 4 5 百万円について寄附を受ける。
- ・ 費用については、環境活動 2 0 百万円、次世代育成支援活動 1 5 百万円、管理費 1 0 百万円の計 4 5 百万円とする。

	事業会計 (環境活動、次世代育成支援活動)	法人会計	合計
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取寄付金	35,000,000	13,000,000	48,000,000
受取寄付金	35,000,000	13,000,000	48,000,000
経常収益計	35,000,000	13,000,000	48,000,000
(2) 経常費用			
事業費	35,000,000	0	35,000,000
給料手当	0	—	0
法定福利費	0	—	0
諸謝金	700,000	—	700,000
旅費交通費	900,000	—	900,000
通信運搬費	2,410,000	—	2,410,000
普及宣伝費	3,100,000	—	3,100,000
渉外費	0	—	0
制作費	550,000	—	550,000
印刷製本費	480,000	—	480,000
消耗品費	300,000	—	300,000
報酬	0	—	0
会議費	150,000	—	150,000
支払助成金	14,000,000	—	14,000,000
支払手数料	10,000	—	10,000
委託費	11,500,000	—	11,500,000
ソフトウェア償却費	0	—	0
雑費	900,000	—	900,000
管理費	0	10,000,000	10,000,000
給料手当	0	1,800,000	1,800,000
法定福利費	0	0	0
報酬	0	400,000	400,000
諸謝金	0	0	0
会議費	0	150,000	150,000
旅費交通費	0	100,000	100,000
通信運搬費	0	500,000	500,000
普及宣伝費	0	4,000,000	4,000,000
渉外費	0	0	0
制作費	0	200,000	200,000
印刷製本費	0	200,000	200,000
消耗品費	0	600,000	600,000
賃借費	0	300,000	300,000
リース料	0	700,000	700,000
支払手数料	0	10,000	10,000
委託費	0	600,000	600,000
ソフトウェア償却費	0	0	0
雑費	0	440,000	440,000
経常費用計	35,000,000	10,000,000	45,000,000
評価損益等調整前当座経常増減額	0	0	0
当期経常増減額	0	0	0
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	3,000,000	3,000,000
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	0	3,000,000	3,000,000
II. 指定正味財産増減の部	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III. 正味財産期末残高	0	3,000,000	3,000,000

以上